

第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

食べることをとおし 生きる力を身につけ 健やかな心とからだを育む

市民一人ひとりが、食に関心を持ち、食を楽しみ、健全な食生活を実践する基本的な力を身につけ、健康な心と体、豊かな人間性を育み、生涯を通じて生き生きと暮らせることを目指すため、食育の基本理念を掲げます。

2 基本方針と重点目標

(1) 基本方針

基本理念に近づけるよう、国の基本方針に沿って次の3つの方針を掲げます。

① 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進

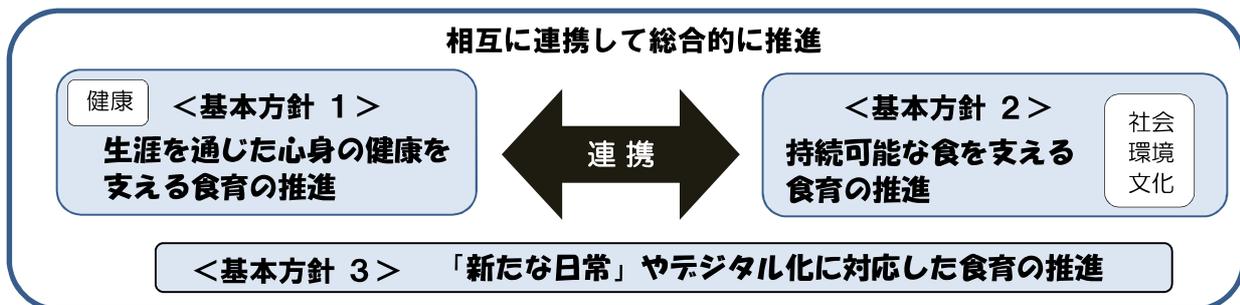
市民の健康寿命の延伸にむけ、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育めるよう、ライフステージに応じた切れ目のない生涯を通じた食育を推進します。

② 持続可能な食を支える食育の推進

生産者と消費者との交流を行い食を大切にする心を育み、地産地消や食品ロス削減、多様な食文化を次世代に継承する食育を推進します。

③ 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進

ICT等のデジタル技術を有効活用して効果的な情報発信を行い、市民が主体的に情報を取り入れ、食育に取り組めるようデジタル化に対応した食育を推進します。



(2) 重点目標

本市の健康や食の現状と課題から生活習慣病の予防及び重症化予防、適正体重の維持、朝食摂取の推進に関する項目に重点的に取り組むため、重点目標を掲げます。

重点目標 健康で豊かな食生活の実践

「人生100年時代」に向けて、生活習慣病の予防及び重症化予防をすることで、健康寿命の延伸を実現し、全ての市民が健全で充実した食生活を実現することを目指し、地域や関係団体の連携・協働を図りつつ生涯を通じた食育を推進します。

また、子どものうちに健全な食生活を確立することは、生涯にわたり健全な心身を培い、豊かな人間性を育ていく基礎となり、重要であることから、重点的に推進していきます。

3 食育推進の目標

基本理念の実現に向けた基本施策の成果や達成度を客観的な指標により把握するため、解決すべき重点課題に沿った項目について目標値を設定します。

なお、目標値は達成のみを追求することなく、施策の効果を総合的に評価するものです。

重点目標	目標	指標	対象	現状値	目標値	データベース	
健康で豊かな食生活の実践	適正体重を維持している市民の増加	肥満者（肥満傾向児）の割合の減少	小学5年生 (肥満度20%以上)	男子	20.0%	減少	全国体力・運動能力・運動習慣等調査
				女子	16.0%		
			中学2年生 (肥満度20%以上)	男子	30.8%		
				女子	17.4%		
			成人・高齢者 (40～74歳) (BMI25以上)	男性	39.8%		
				女性	31.2%		
	やせの割合の減少	高齢者(65歳以上) (BMI20以下)	男性	10.7%	KDB及び KDB Expander		
			女性	21.4%			
	朝食を食べる習慣のある市民の増加	朝食摂取者の割合の増加	小学6年生 (毎日食べる者)	74.1%	100%に近づく	全国学力・学習状況調査	
			中学3年生 (毎日食べる者)	71.7%			
成人・高齢者 (週3回以上欠食しない者)			87.5%	※国の目標値 (100%)に準じる			
よくかんで食べる市民の増加	食べる速度が速い者の割合の減少	成人・高齢者 (食べる速度が速い者)	30.0%	減少	KDB及び KDB Expander		